

平成29年度 学校自己評価システムシート (県立寄居城北高等学校)

目指す学校像	将来、社会に貢献できる人材を輩出し、地域に信頼される学校となるため、総合学科の特色を生かした教育を実践し、知・徳・体のバランスのとれた力を身につけた生徒の育成に取り組む。
--------	---

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 系列の特性を生かした教育を実践し、確かな学力の育成と資格の取得に取り組む。 2 部活動や学校行事などの特別活動を通して、規律ある態度を身につけ、心身ともに健全な生徒の育成に努める。 3 インターンシップ等の体験活動を通して、進路意識の醸成を図り、生徒の適性や希望に応じた進路実現に努める。 4 積極的な情報発信を通して、保護者や地域から共感を得られる魅力ある学校づくりを進める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	7名
	生徒	7名
	事務局(教職員)	12名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					
年 度 目 標				年 度 評 価 (1 月 2 5 日 現 在)	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況
1	授業改善への取り組みにより、成績不振者が減少するなど、学力向上の成果は見られる。今後も、さらにきめ細かな学習指導と家庭学習の徹底と確保が必要である。また、資格取得指導を通じて、学習意欲や学力の向上に繋げる。	・授業の工夫・改善や学習時間の確保、資格取得指導により、基礎学力を定着させると共に、学習意欲や学力を向上させる。	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業中のマナーやルールをさらに周知し、指導を徹底させる。 ② 分かる授業を実施すると共に、習熟度別授業や少人数クラス等の特色を生かし、学力向上に繋げる。 ③ 教員が相互に参観できる授業研究を行い、指導力を向上させる。 ④ 宿題や課題提出等により、家庭での学習時間を確保する。 ⑤ 資格取得者を増加させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業中のマナー等指導が徹底できたか。 ② 成績不振者は減少したか。 ③ 習熟度別授業や少人数クラス等を生かし、学力向上の成果が上がったか。 ④ 教員相互の授業研究等により、指導力を高め、生徒の学力向上に繋がったか。 ⑤ 家庭学習をする生徒が増えたか。 ⑥ 資格取得者が増えたか。 	授業への取組等ほぼ達成 ①授業中のマナーは、93%が順守。昨年比3%向上。 ②成績不振者は昨年比2%減少。習熟度授業等により、「よく分かった」が62～75.4%と大幅に向上。 ③延べ70名研究授業に参観し授業研究ができた。 ④家庭学習をしている生徒は約33%で2年連続向上。 ⑤資格取得者は昨年比5%増
2	徹底したきめ細かな生徒指導・整容指導により、落ち着いた学びの場を提供できている。さらに指導を継続して遅刻者、生徒指導件数の減少に努めると共に学校行事や部活動、ボランティア活動を通じて高校生活を充実させ、バランスのとれた生徒の育成に繋げる。	・基本的生活習慣を身につけさせると共に、学校行事や部活動、ボランティア活動を活性化させ、豊かな人間性を育み、学校生活の充実に関与させる。	<ol style="list-style-type: none"> ① 月1回のマナー学習、毎日の校門立哨指導により、挨拶や言葉遣い、遅刻の指導をさらに徹底する。 ② 部活動やボランティア活動への積極的参加を呼び掛ける。 ③ 文化祭など学校行事を充実させ、生徒に達成感・成就感を味わわせる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① マナー学習、校門立哨指導が実施できたか。活発な挨拶と規律が定着し、遅刻者が減少したか。 ② 部活動やボランティア活動への参加者が増えたか。 ③ 充実した文化祭など、学校行事が実施できたか。 	整容や挨拶等概ね達成 ①マナー指導の徹底で挨拶は「75%の生徒ができた」。遅刻者は昨年比増加傾向。 ②部活、ボラ活動の認識は高い。ブータン王国との連携も入り、参加者は向上。 ③体育館の他に中庭開放等充実した文化祭となった。
3	系統的進路指導等により、進路意識が向上し、進路決定(就職・進学)100%を達した。きめ細かな小論文・面接指導、進路補習を徹底させ、さらなる充実に繋げる。また、インターンシップを有効活用し、キャリア教育を充実させる。	・きめ細かな指導とインターンシップの有効活用により、進路意識を高めると共に、3年生全員の進路決定を目指す。	<ol style="list-style-type: none"> ① 系統的進路指導など、より充実させたものにする。 ② きめ細かな指導により、3年生全員の進路を決定させる。 ③ インターンシップを多面的に活用し、進路意識の醸成を図ると共に、望ましい勤労観・職業観を育成する。 ④ キャリア教育を充実させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 系統的進路指導など、進路指導が充実したか。 ② きめ細かな指導により、3年生全員の進路が決定したか。 ③ インターンシップの多面的な活用により、進路意識の醸成と望ましい勤労観・職業観を育成できたか。 ④ キャリア教育が充実できたか。 	進路決定2年連続達成 ①②充実した系統的進路指導により、「就職希望者は100%」決定した。進学者も「ほぼ達成」の見込。 ②③④インターンシップ後の生徒感想では「将来の進路に役立つ」が100%と高く進路意識の醸成に繋がると共に職業意識も向上した。
4	HPや学校通信、学校説明会など積極的な情報発信に努めたが、募集定員を確保できなかった。その要因を分析し改善すると共に、今後は、「地域連携型総合学科」として、さらに地域の交流、貢献など活用した特色ある教育活動の充実に努める。	・地域の教育力や外部評価・意見を活用し、本校の教育力を高めると共に、HPや学校通信、学校説明会などによる情報発信を充実させる。	<ol style="list-style-type: none"> ① 部活動を中心に、地域の行事に生徒を積極的に参加させる。 ② 中学校訪問や学校説明会、塾等との連携を強化し、情報発信を充実させ募集定員を確保する。 ③ HPなど、情報発信をさらに充実させ、本校の理解者を増やす。 ④ 学校評議員会等、地域の意見を本校の教育力向上に生かす。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 地域の行事に生徒が参加できたか。 ② 中学校訪問や学校説明会、塾等との連携強化により、募集定員を確保できたか。 ③ HPなどによる情報発信が、本校理解者の増大に繋がったか。 ④ 学校評議員会等、地域の意見を収集し、活用できたか。 	地域連携等ほぼ達成 ①地域の行事に積極的に参加し多大な成果を収めた。 ②新規の塾対象説明会実施等により、1月発表志願者倍率は0.99倍となった。 ③積極的な情報発信により約1倍の倍率に繋がった。 ④学校評議員等の意見を踏まえ、課題に対応した。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成30年 2月 9日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>○生徒が熱心に授業を受け、ノートを取り、主体的な学びに繋がっている。 ○授業中のマナーが向上している事が生徒の態度から良く表れている。 ○生徒全体の学びの姿勢から達成度Aは、当然の評価である。 ○家庭学習は課題だが図書館での勉強もアンケートに加えてほしい。 ○アクティブラーニングと共に、基礎学力指導の一層の充実を願いたい。</p> <p>○多様な家庭環境等による生活の乱れが遅刻者の増大に繋がっている。 ○学校生活が真面目で協調性のある生徒は社会人の地位等も向上している。 ○信用は社会人の重要な要件、その上で約束事をしっかり守らせてほしい。 ○学校には様々な生徒がいる。個性に応じた指導支援で伸ばしてほしい。</p> <p>○産業界は起業家の育成が課題、インターンシップの実施と共に、若い起業家の講演等を生徒に聞かせてほしい。 ○生徒の幅広いニーズに基づくインターンシップ受入先の拡大に向け、商工会等の一層の協力をお願いしたい。 ○先生方の手厚い指導により、早期に進路イメージを固め、具体的な対策や努力を積み上げる結果に繋がった。</p> <p>○地域の方は生徒さんが地域のイベントに参加する事を楽しみにしている。通学路の雪かき等にも参加頂きたい。 ○地域連携内容が新聞等に報道され大変嬉しい。ブータンへの生徒派遣は有益な機会となる。是非、グローバル化をキーワードに一層推進してほしい。 ○地域連携は学校として、これからも大事に取り組んでほしい。</p>	